

事業番号	06 01 03	事業改善シート（令和2年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	環境審査事業費	部局	環境部	課・室	環境政策課	
		実施期間	S59～	E-mail	kankyo@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	該当なし					
総合的に展開する重点政策	4-5 地球環境への貢献					


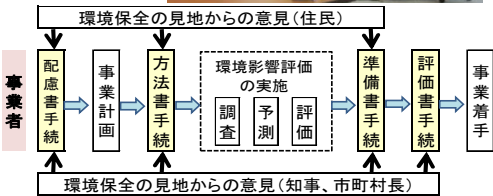
## 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】	法対象2件（佐久都市計画道路1・4・1号南牧佐久線、都市計画道路諏訪バイパス）及び条例対象4件（諏訪市四賀ソーラー事業、一条メガソーラー長野佐久穂海瀬発電所事業、長野県佐久市そら発電所事業、一条メガソーラー長野佐久穂大日向第一発電所・長野佐久穂大日向第二発電所事業）について、環境影響評価手続きを実施中である。また、リニア中央新幹線に係る事後調査報告書等について、審議を行っている。
	【目指す姿】	環境影響評価手続きを通じ、大規模開発事業を行う事業者の環境保全への適正な配慮を推進し、もって本県の豊かな環境の保全に資する。
	【実施内容】	事業者への環境保全の見地からの知事意見提出 など

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							事業 コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況		前年度繰越	0	0
									予 算 額	現計予算
合計(A)	6,685	7,508								
うち一般財源	6,685	7,508								
1								決 算 額(B)	6,099	4,525
2									職 員 数(人)	3
3										
4										

成果指標 設定理由	
--------------	--

達成状況 の分析	
-------------	--

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 環境影響評価図書の審査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・FSPS佐久市八風太陽光発電所事業(旧名称:長野県佐久市そら発電所事業)に係る環境影響評価方法書について、内容を十分に審査するとともに、県環境影響評価技術委員会等からの意見聴取を行った。</li> </ul> </li> <li>✓ リニア中央新幹線関連事業に対する助言 <ul style="list-style-type: none"> <li>・リニア中央新幹線に係る環境調査並びにトンネル工事及び発生土置き場における環境保全等について、県環境影響評価技術委員会委員等の意見をもとに、環境保全のための助言を通知した。</li> </ul> </li> </ul>	
		

## 2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境影響評価図書の内容の画一化等により、環境影響評価手続きにおける事業者と地域とのコミュニケーションが十分に機能していない。</li> <li>・環境影響評価書の公告を終えて、事業に着手した案件が増加していることから、環境影響評価の結果等が適切に事業に反映されていることを確認する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業特性や地域特性に応じてメリハリのある環境影響評価が行われ、環境影響評価手続きを通じて地域とのコミュニケーションに資するよう、環境影響評価制度への一層の理解を促進する。</li> <li>・環境影響評価書公告後の手続きを効果的に運用することにより、環境保全を推進する。</li> </ul>

事業番号 06 01 03 細事業一覧（令和2年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	環境審査事業費	部局	環境部	課・室	環境政策課
-----	---------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
1	環境審査事業費	6,099 千円	4,525 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	環境影響評価技術委員会の運営	直接	環境影響評価技術委員会を7回、現地調査を4回開催し、環境影響評価図書について専門的・技術的な見地から審査を行うとともに、環境への影響を最大限回避・低減するよう事業者に求めることにより、大規模開発事業の環境配慮を推進した。
2	環境影響評価員の配置	直接	環境影響評価技術委員会の運営等の業務補助のため、会計年度任用職員1名を配置した。